

児童発達支援 事業所における自己評価結果(公表)

公表: 令和6年4月1日配布開始

事業所名: 児童発達・放課後等デイサービス たんぽぽ

区分	チェック項目	はい	いいえ	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○		・運営基準は満たしていますが、動きの中で狭く感じるので、環境整備をおかない、少しでも体を動かせる環境を整えている。
	2 職員配置数は適切であるか	○		・送迎職員の確保、育成に努める。 ・利用児童に対し、よりよい支援を行うために、法令で必要とされている配置数に加え、新規入職した職員(指導員又保育士)の定着率を高め育成します。
	3 生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	○		・送迎職員の確保、育成に努める。 ・利用児童に対し、よりよい支援を行うために、法令で必要とされている配置数に加え、新規入職した職員(指導員又保育士)の定着率を高め育成します。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	○		・活動に不必要なものを遮断し活動に集中できるよう環境設備をしている。 ・視覚掲示物を有効活動し、活動の決まり事をイラストや記号、文字などで表し、一目で見て理解できるよう工夫している。 ・室内に段差はなく、バリアフリーになっている。
業務改善	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○		・日頃から職員間の情報共有を密に行い、定期的に会議、随時行事の計画、事前準備、事後反省を行い、今後の業務改善に努めている。
	6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○		・3月に評価報告を行い、保護者等からのご意見については、職員間でその都度情報共有を行い、今後の事業所運営に活かすための方法について話し合い、日々の業務改善に努めている。
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○		・定期的に3月中に報告を行っている。
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		○	・ホームページ等を通じて、情報開示を行うとともに、業務改善を客観的に評価できる仕組み作りを構築していきます。

区分	チェック項目	はい	いいえ	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
業務改善	9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○		・内部研修、外部研修、web研修参加への積極的に参加し事業所内勉強会の機会を設け職員の質の向上を行います。
適切な支援の提供	10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	○		・支援計画を立案する際には、ご本人の思いやご家族様のご意向を確認しています。毎月実施している個別支援計画作成担当者会議で話し合いながら、個々の利用者に応じた計画内容の立案に努めております。
	11 子どもの適応行動の状況を計るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○		・事業所で作成したアセスメントシートを活用している。(意向を確認出来るシート)
	12 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	○		・契約時にアセスメントを行い、今後はより一層、明確で具体的な支援内容が設定できるように努めていきたいと思えます。
	13 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	○		・個別支援計画の内容に沿って、支援をおこなっている。
	14 活動プログラムの立案をチームで行っているか	○		・各支援者の持ち味を活かし、意見を出し合い実施できている。 ・立案したものを蓄積して、次のプログラムにステップアップしていきたい。
	15 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○		・ミーティングで意見を出し合い、利用児童に合わせた活動を行い工夫し重ならないよう実施している。
	16 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	○		・利用児童の特性に応じた活動計画や利用児童の好きな活動を中心に、プログラムを組み立てを行い良いところ(出来る)ことを伸ばしていくことを大切にしている。
	17 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○		・シフトの状況によって打ち合わせが十分にできない時もあるが、毎日ミーティングを行い、できない時は引継ぎノート等で伝達や電話にて共有をしている。
	18 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○		・シフトの状況によりすぐに相談できない時があるが、支援終了時に職員による振り返りの時間の確保を行い、引継ぎノートも活用し、必要に応じて職員と電話にて共有している。

区分	チェック項目	はい	いいえ	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
適切な支援の提供	19 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○		・毎回の支援に関して記録をし、こちらに基づいて、評価、改善をし次の計画作成や客観的事実と合わせて児童の言動を詳細に記録することで、ケース会議を実施していきたいです。
	20 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか		○	・年2回のモニタリングを基本としている。日々の行動に観察しながらモニタリングををして見直すか否かの判断している。状況によって早期モニタリングも必要であると感じている。
関係機関や保護者との連携	21 障害児相談支援事業のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしいものが参画しているか	○		・児童発達支援管理責任者が参画しています。
	22 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	○		・必要な時は、関連機関等の方と電話や面談を行い情報共有している。
	23 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか		○	・現時点では利用の方は在籍されていないが、職員間での法令等について学びを深めていきたい。
	24 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか		○	
	25 移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○		・保育所、幼稚園に見学に行き、連携をとりながら積極的なアプローチをしていく。 ・送迎時に相互に情報を提供し合い共有ができています。
	26 移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○		・引き継ぎシートを作成し、保護者様を通じて学校の先生にお渡ししていただき、送迎時での情報共有は今後もしていく。
	27 他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○		・併行利用者の方に関しては連携をおこなっている。今後必要性に応じてその都度連携していく。
	28 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		○	・今後、法人として地域の支援も検討をしていきたい。
	29 (自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか		○	・今後の検討課題とします。
	30 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○		・電話連絡や連絡帳でのやりとり、また送迎時に様子をお伝えして、情報共有できるようにしています。 ・保護者様と共有したことを職員と共有して支援に活かしていきたい。

区分	チェック項目	はい	いいえ	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
関係機関や保護者との連携	31 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	○		<ul style="list-style-type: none"> ・送迎時や電話等で支援をおこなっている。 ・ペアレントトレーニングはしていないが、ペアレントトレーニング等の支援に繋げていけるように、各スキルアップ研修に参加していきたいと考えています。
保護者への説明責任等	32 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○		<ul style="list-style-type: none"> ・契約時に重要事項説明書を用いて詳細説明している。
	33 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	○		<ul style="list-style-type: none"> ・ガイドラインの読み合わせはできているが、内容を把握しやすいよう書面で取り入れている。
	34 定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○		<ul style="list-style-type: none"> ・必要時には個別で面談をおこない、話しやすい雰囲気作りを心がけています。支援者も保護者様の声を十分に聴き、継続的にサポートできるように心がけ、必要な助言と支援をおこなっている。
	35 父母の会の活動を支援したり、保護者会などを開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○		<ul style="list-style-type: none"> ・ご家庭での要望もあり保護者会を開催をおこなった。今後も回数を重ねて開催していきたいと考えています。
	36 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○		<ul style="list-style-type: none"> ・担当毎職員配置をしている。第三者委員会の設置も整っている。
	37 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○		<ul style="list-style-type: none"> ・行事予定の配布やSNSの記載の他に、事業所の様子や活動状況をタイムリーに保護者様・地域に積極的に発信していきたい。
	38 個人情報の取扱いに十分注意しているか	○		<ul style="list-style-type: none"> ・個人情報に掲載されている文章やファイル等は鍵付きの書庫にいらてます。今後も徹底していきます。
	39 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○		<ul style="list-style-type: none"> ・絵カードやジェスチャーまたは視覚支援を用いたり、タイマーなどを使用することによって、分かりやすく伝えられるように工夫している。
	40 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○		<ul style="list-style-type: none"> ・地域での公益活動として、ハロウィン開催、こども食堂など開の催をおこなった。

区分	チェック項目	はい	いいえ	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
非常時などの対応	41 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか		○	・職員がいつでも閲覧できるように事業所での管理はしているが、詳細内容については、連絡帳を通じてお伝えしています。
	42 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○		・防災訓練を実施し、保護者様向けに様子などをSNSに掲載しているが、今後、訓練の種類や内容も充実させていくための計画を行っている。
	43 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	○		・保護者様によるアセスメントシート(発達記録)や、学校・家庭での聞き取りはできているが、支援に入る前にも既往歴を確認している。
	44 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○		・現段階で食事アレルギーの方はおられないが、今後アレルギーをお持ちの方がご利用になられた場合は、保護者様に詳しく聞き取りをし、医師とお話をする機会を設ける。(調理設備がないこともあり、昼食はお弁当持参。見学時や契約時に再度その旨をお伝え、了承いただいております。)
	45 ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○		・ヒヤリハットの記入により職員間で共有し、何かあった際には積極的に記録し、たんぽぽで共有できるよう環境を整えています。
	46 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○		・定期的に内部(法人本部・たんぽぽ内)・外部研修の機会があり、たんぽぽ内の会議等にて虐待防止に関する適切な対応かを話し合っている。
	47 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか		○	・現時点で身体拘束の必要性がある方はいないが、必要になった場合の配慮をおこなっていききたい。